

本 会 記 事

1. 昭和 61 年度総会ならびに研究発表会

四国植物防疫協議会の昭和 61 年度総会ならびに研究発表会は、約 170 名が参加し、11月13、14 日の両日、高松市のホテルリッチで開催された。

1) 総会

13 日午後 1 時から開かれ、昭和 60 年度会務報告が承認されたのち、昭和 61 年度の事業計画および予算案が上程、承認された。

2) 研究発表

13 日午後 1 時 40 分から 14 日 12 時 10 分まで、次の 18 題の講演が行われた。

1. ○川村 満(高知県南国防除所)・高井幹夫(高知県農林技研)・土田 建・飯野尚之(高知県南国防除所)
カメムシ類による斑点米症状の発現経過
2. ○高井幹夫(高知県農林技研)・川村 満(高知県南国防除所)
玄米の発育ステージと斑点米発生との関係
3. ○横山好史(高知県南国普及所)・土田 建(高知県南国防除所)
早期稲の初期生育にイネミズゾウムシが与える影響とその後の経過
4. ○山下 泉(高知県農林技研)・川村 満(高知県南国防除所)
早期稲におけるイネミズゾウムシ幼虫の加害時期の解析
5. 松本英治(香川県病害虫防除所)
イナズマヨコバイの発生生態
6. 西山芳邦(香川農試)
イナズマヨコバイの薬剤感受性
7. ○後藤昭文・須藤真平・日和田太郎(徳島地方防除所)
イネ馬鹿苗病の発生動向と各種薬剤の防除効果について
8. 加々美好信・○貞野光弘(徳島農試)
ハウレンソウ萎凋病の薬剤防除
9. ○寺峰 孜・斉藤優子・川原俊秀(高知蚕試)
ワク輪斑病の防除
10. ○脇屋春良・関口辰也(徳島農試)
ハスクビレアブラムシのハス田における胎生越冬
11. 渡辺丈夫(香川農試・三木分場)
クワキジラミの発生生態について
12. ○関口辰也・脇屋春良(徳島農試)
藍のカツオゾウムシの発生生態と防除
13. 佐々木善隆(香川農試)
コナガによる合成ピレスロイド剤抵抗性の発達
14. 若村定男(四国農試)
シロイチモジヨトウの性誘引剤(予報)
15. 岡本秀俊(香川大)
数種粘着性物質に対するオリーブアナアキゾウムシ成虫の反応
16. ○岩崎真人(四国農試)・山本孝彗(富山農技センター野菜花き試)・勝部利弘(四国農試)

簡易化したELISAによるキュウリモザイク病の診断

17. ○飯野尚之・土田 建（高知県南国防除所）

促成ピーマンのは場内におけるTMVの発病について

18. ○小林達男（高知県農林技研）・安永忠道（愛媛農試）・西山幸司（農業環境技研）

Erwinia carotovora subsp. *carotovora* によるキュウリ・メロン茎の乾腐症状

3) 特別講演

13日午後3時40分から5時まで、愛媛県植物防疫協会重松喜昭氏による「果菜類における急性しおれ症状の発生とウイルス」、四国農業試験場井上齊氏による「ウンカ・ヨコバイの稲ウイルス媒介特性およびウイルス病流行解析」の講演があった。

4) 協議

14日9時から10時まで、昭和62年度の病害虫発生の特徴とその対策ならびに防除上の問題点につき、金磯泰雄（徳島）、野田弘之（香川）、武智文彦（愛媛）、堀内崇裕（高知）の各氏の報告が行われた。

2. 次年度大会

昭和62年度本会総会および研究発表会は四国農業試験場が担当し、昭和62年11月中旬に善通寺市での開催予定が決められた。